会　議　録

会 議 名	令和８年度 第２回福島市男女共同参画審議会
開催日時	令和８年１０月２０日(火)　午前１０時から１１時
開催場所	福島市役所庁舎棟９階　９０２会議室
出席委員	横田智史委員、小澤和枝委員、赤間幸子委員、今野秀幸委員、 高橋浩美委員、樋口和枝委員、松本雄一委員、宗像正彦委員、 元井貴子委員
欠席委員	奈良輪和子委員、西沢桂子委員、渡邉圭司委員
議　　題	議　事 （１）男女共同参画ふくしまプランの策定について （２）その他
市出席者	総務部長：板垣真也 男女共同参画課長：赤間公子 〃　　主任：村田こずえ 〃　　副主査：皆川竜也

令和８年度　第２回福島市男女共同参画審議会　会議録

日　時：令和８年１０月２０日（火）午前１０時～１１時
場　所：福島市役所庁舎棟９階　９０２会議室
出席者：委員９名（別紙のとおり）
事務局：４名（別紙のとおり）

事務局　　１　開会
会長　　２　会長あいさつ
　　３　議事
事務局　　４　閉会

【議　事】
（１）男女共同参画ふくしまプランの策定について
会長　　事務局より説明願う
事務局（主任）　資料に基づき説明
【主な質疑等】
委員　　素案の案３２ページ、「誰もが活躍できる環境づくり」の部分について、タイトルについては理解できるが、現状と課題に記載のある「固定的な性別役割分担意識が根強く残る中、女性に家事・育児・介護等の負担が偏りがちであり、男性は長時間労働などから家庭生活との両立が困難な状況もみられています。」という記述については気になる。今は女性も正社員として働いている方が多く、長時間労働は男女共通の課題になっている。ここだけ男性を対象にした表現になっていることに違和感がある。
会長　　従来は「男性の長時間労働」が典型的な課題として捉えられていたが、今は状況も変わってきている。
委員　　「固定的な性別役割分担意識」が根本的な問題だと思っている。仕事が忙しいからできないのではなく、夫婦とも同じ時間に帰宅しても、「家事は妻がやるもの」という意識が残っているために役割が偏ってしまうのではないか。そのため、「男性は長時間労働などから」という表現はなくてもよいのではと思う。
副会長　　一方で、現状と課題の部分なので、実態としては「子どもが熱を出したら妻が休む」「家事・育児は女性側に偏る」といった事例もまだ多いと思うことから、現状としてはこうした課題が存在し、そのうえで目指すべき姿の中に男女共同で担う考え方を盛り込むという整理もできるのではないか。
委員　　私の職場でも、女性が残業したり休日出勤したりすることは珍しくない。長時

間労働は男女を問わない課題になっていると思う。

委員　正直なところ、「長時間労働を理由に家事等をしない」ということではないと思う。長時間労働を理由にしているだけではないか。

事務局（課長）　この記述の背景には、市民意識調査の結果がある。「男性は生活費を稼ぐために働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方が依然として残っていることや、家事・育児・介護の負担割合が女性に偏っているというデータがある。ただし、委員の皆様のご意見も踏まえると、「男性は」という表現を外すなど修正は検討できる。

会長　文の冒頭の「男性は生活費を稼ぐために働き、女性は家庭を守るべき」の部分で家事・育児・介護の負担が女性に偏っているという課題は十分伝わる。そのため、「男性は長時間労働などから」という部分を削除しても文章としての意味は成立するのではないか。

事務局（課長）　「男性は長時間労働などから」という記載について、長時間労働は現状では男女双方に当てはまる課題であるため、削除または表現の修正を検討する。

委員　素案の案４５ページ、「ダイバーワークスタイル認証企業」という言葉が分かりにくい。市民が読んだときに理解できるか。説明が必要だと思う。

事務局（課長）　これまでは「働く女性応援認証企業」でしたが、令和７年度からは女性だけでなく、高齢者、障がい者、外国人など、多様な人材が働きやすい環境づくりを評価する制度へ拡充している。そのため「ダイバーワークスタイル認証企業」という名称になった。

事務局（部長）　説明の追記は検討する。

委員　素案の案３１ページ、基本目標Ⅱ-３-（１）の施策内容の「②避難所運営における女性への配慮」の表記について可能であれば表現を変えてもいいのではないか。現在、福島県全体の防災に関する研究をしており、防災で一番大切なのは、避難所の意思決定に女性が参画することであると考える。女性は炊き出しや清掃などのケア労働を担うことが多く、物資配布や避難所運営の意思決定には参加できていない事例がある。性被害防止の観点からも、避難所運営の中心に女性が入ることが重要だと考えている。

事務局（部長）　地域防災計画等の整合も確認しながら、計画への反映が可能か検討する。

委員　防災もそうだが、女性や若者の人口流出の問題について気になっている。福島県全体で人口流出が課題になっているが、この計画の中にはそうした視点は入っているのか。

事務局（課長）　人口構造については素案３ページに掲載している。男女共同参画ふくしまプランは個別計画ですが、その上位には福島市総合計画がある。総合計画では人口減少や人口流出が大きな課題として位置付けられており、特に若者や女性の流出に対し、どういった施策を講じるかが重要なテーマとなっている。特に若い女性の流出傾向が顕著であるため、地元への就職や定住につながる環境づくりは重要な課題だと認識している。

（２）その他

事務局（主任）　本日いただいたご意見を反映し、パブリックコメントへ進める。また、第３回の審議会は１月下旬から２月上旬に開催したい。確定後連絡する。